
詩二編 「制服」 「センチメンタル」

薫ようこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩二編 「制服」 「センチメンタル」

【Nコード】

N0427Z

【作者名】

薫ようこ

【あらすじ】

どちらも短かったので、二編の詩をまとめました。「制服」は、やなせたかしさん主催の『詩とメルヘン』という雑誌に投稿した時、一次選考通過で名前が載りました。今のところ私の詩の作品では、これが最高の成績です。

「制服」

三年間 いっしょに
うれし涙も
くやし涙も
いっしょに

おまじないって
ナイショでつけた
赤い糸で 紺の服
ボタンをつけた

今 袖口を見て
妹が不思議がる
「ヘンなの」って
口をとがらせる

でもね
つけかえないでね
これだけは
クリーニングで
私の思い出は
みんな落ちてしまったようだけど

赤い糸がおまじない

学校で 妹が

あの人とすれちがったら

私のかわりに

ふりむくように

制服だけ

ふりむくように

「センチメンタル」

曇り空の午後

肩を落として

うつむいて

歩いてみる

見上げても

空が白いから

誰か

気づいてほしいのに

気づいてほしくなくて

誰か

そばにいてほしいのに

そっと ひとりになりたくて

泣きそうな空の下

どしゃ降りになればいい

この感情の傷
あなたにも
癒せない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0427z/>

詩二編 「制服」 「センチメンタル」

2011年12月1日19時46分発行